

■ 主な活動状況 (19年12月～20年7月)

■ 12月	4～7日	●市町中堅職員研修 〈研修所〉
	7日	●えひめ地域づくり研究会議運営委員会 開催
■ 1月	19日	●えひめ地域づくり研究会議年次フォーラム 開催 〈松山市〉
	22～25日	●市町中堅職員研修 〈研修所〉
	24日	●地域づくり人養成講座 自主研究発表会 開催 〈松山市〉
	31～2月1日	●県出捐シンクタンク交流会 〈鳥取〉
■ 2月	1～2日	●地域づくり団体全国研修交流会茨城大会 〈茨城〉
	16日	●地域ミニフォーラム 開催 〈上島町〉
	22～23日	●地方シンクタンク協議会幹事会・経営者会議 〈富山〉
	23～24日	●豊予海峡圏地域づくり交流事業 〈大分県臼杵市・佐伯市〉
■ 3月	5日	●移住サポーター・ネットワーク会議 開催 〈松山市〉
	15日	●地域ミニフォーラム・えひめ地域づくり研究会議運営委員会 開催 〈伊予市〉
	21日	●地域づくり団体全国研修交流会愛媛大会実行委員会 開催 〈西予市〉
	25日	●トークサロン 開催 〈松山市〉
	27日	●第16回評議員会・理事会 開催 〈松山市〉
■ 4月	18日	●えひめ地域づくり研究会議運営委員会 開催
	25日	●地方シンクタンク協議会幹事会 〈東京〉
■ 5月	14日	●えひめ地域づくり研究会議運営委員会 開催 〈伊予市〉
	16日	●地域づくり団体全国研修交流会愛媛大会実行委員会 開催 〈宇和島市〉
	23日	●第17回評議員会・理事会 開催 〈松山市〉
	28日	●まちづくり活動アシスト事業審査会 開催 〈松山市〉
	29日	●地方シンクタンク協議会中国・四国ブロック研究交流会 〈広島〉
	30日	●えひめ移住交流促進協議会総会 〈松山市〉
■ 6月	20日	●地域づくり団体全国研修交流会愛媛大会実行委員会 開催 〈八幡浜市〉
	20日	●地方シンクタンク協議会総会・フォーラム 〈宮城〉
	25日	●地域づくり人養成講座 開催 〈松山市〉
	27日	●えひめ地域づくり研究会議運営委員会 開催
■ 7月	31日	●地域づくり人養成講座 開催 〈伊予市〉

■ 人事異動のお知らせ

次のとおり人事異動がありましたのでお知らせします。前任者同様よろしくお願いたします。

〈前任〉 〈新任〉

○政策研究スタッフ 研究員 秋山照彦 → 河野茂樹 (愛媛県信連派遣)
〃 河野洋 → 向井浩司 (愛媛銀行派遣)

また、統括部長 (常務理事) の丹羽由一が九州大学大学院に転出するとともに、当センター調査役 (非常勤) に就任いたしました。

■ バックナンバーのご紹介

Vol. 1 特集	『地域における政策形成』	〈平成12年12月〉	Vol. 12 特集	『新しいライフスタイルと地域』	〈平成16年 1月〉
Vol. 2 特集	『最適な「地域」となることを求めて』	〈平成13年 4月〉	Vol. 13 特集	『構造改革特区と地域再生構想』	〈平成16年 5月〉
Vol. 3 特集	『新四国創造』 (在庫なし)	〈平成13年 8月〉	Vol. 14 特集	『平成の大合併と地域自治』	〈平成16年 9月〉
Vol. 4 特集	『地域における環境政策』	〈平成13年11月〉	Vol. 15 特集	『21世紀の農業』 (在庫なし)	〈平成17年 1月〉
Vol. 5 特集	『地域戦略・政策・ガバナンス』	〈平成14年 2月〉	Vol. 16 特集	『若年者雇用の危機』	〈平成17年 6月〉
Vol. 6 特集	『市町村合併と地域社会』	〈平成14年 5月〉	Vol. 17 特集	『道州制を考える』	〈平成17年12月〉
Vol. 7 特集	『人口減少社会を考える』	〈平成14年 8月〉	Vol. 18 特集	『地域の危機管理』	〈平成18年 3月〉
Vol. 8 特集	『まちの機能と景観』	〈平成14年11月〉	Vol. 19 特集	『南予地域を元気に (第一次産業)』	〈平成18年 6月〉
Vol. 9 特集	『新しい地域社会の構築』	〈平成15年 3月〉	Vol. 20 特集	『〃 (交流人口の拡大を目指して)』	〈平成18年12月〉
Vol. 10 特集	『ローカルエネルギーの展望』	〈平成15年 5月〉	Vol. 21 特集	『地域産業の再生』	〈平成19年 8月〉
Vol. 11 特集	『グローバル化時代の地域産業』	〈平成15年 9月〉	Vol. 22 特集	『地域力を考える』	〈平成19年12月〉

■ 編集後記

「十年一昔」と言いますが、10年前の1998年といえば、その年の全国高等学校野球選手権大会で松坂大輔投手が決勝戦でノーヒットノーランを達成したのをつい昨日のこのように鮮烈に覚えているのは私だけでしょうか。当時17歳だった松坂投手も今では27歳となり、メジャーリーガーとしてますます活躍しています。同じように当時60歳だった人は70歳になり、「老人力」(1998年流行語大賞)がついてきたと感じているかもしれません。それでは、今から10年後はどうなっているでしょうか。技術の進歩などは私には想像もつかないほどでしょうが、確実に言えることは、すべての人が10歳年齢を重ね、今までできなかったことができるようになる人がいれば、今までできたことができなくなる人もあるということです。「限界集落」と言われる地域の10年後を考える上で本誌が少しでもお役に立てば幸いです。

Member (平成20年7月31日現在)

所 長 (専務理事) 栗田 史 朗

政策研究スタッフ 主任研究員 武智 公博
研究員 河野 茂樹
研究員 政木 輝彦
研究員 向井 浩司
研究員 渡邊 赴仁
研究員 越智 隆行
事務担当 川原 彩

まちづくり活動スタッフ 主任研究員 小方 悟
研究員 清水 和繁
研究員 松本 宏
研究員 坂本 耕紀
研究員 谷本 英樹
事務担当 濱田 悦子
事務担当 土井田 真里